

## 子どもとお年寄りを 犯罪被害や交通事故被害から守りましょう！

13歳未満の子どもが被害者となった略取・誘拐事件が100件に達しました（2014年1月～11月・警察庁まとめ）。近年、増加傾向にあると、新聞報道されています。事件の発生時間は下校時間に集中する傾向にあり、その多くは道路上、商業施設、都市公園から連れ去られています。4月には新学期が始まります。気候が温暖になることから、子どもが外で遊ぶ機会も増えるでしょう。YCスタッフの皆さん、通学路パトロールや子どもへの声かけを積極的に行い、子どもたちが犯罪に遭わないよう、また、外出するお年寄りが危険な目に遭わないよう見守り活動に取り組もうではありませんか！

### 1. 具体的な防犯活動

- ①登下校時の通学路のパトロール。
- ②道路上で遊ぶ子どもには「道路で遊ぶと危ないよ」と一声かける。
- ③危険な場所で遊ぶ子どもを見かけたら、「ケガをするからやめなさい」とアドバイス。
- ④夕方遅くまで遊ぶ子どもには「お家に帰ろうね」と声かけする。
- ⑤不審者を見つけたら、地域で決めたシステムにしたがって通報。

### 2. 防犯セミナー実施の働きかけ

販売エリアにある小学校には、YCが全国読売防犯協力会を通じて「連れ去り被害防止」の安全教室を開催していることを教えてあげましょう。

### 3. 防犯情報の発信ツール

ミニコミ紙などを発行している場合には、地元の交番や警察署と連携して地域の防犯情報を発信することに力点を置きましょう。また、警察署から防犯チラシの折り込み協力の要請があったら、新聞折り込みに協力しましょう。

### 4. 防犯ベスト・防犯腕章の着用

「見せる防犯活動」は、地域の犯罪を抑止する効果があるといわれています。配達・集金時に着用することで地域貢献を進めましょう。

### 5. 防犯サンデー（第3日曜）

4月から6月の防犯標語は下記の通りです。

- YCが「こども110番の店」であることを集金時や訪問時に読者に伝えよう。

● 特殊詐欺に着目し、「もうかる話を持ちかけられたら、冷静に考えてみましょう」と高齢読者に注意喚起の声をかけよう。

6. より注意した運転を！（春の全国交通安全運動＝5/11～20）

子どもやお年寄りに共通する交通事故の大半は横断歩道での事故—との統計が出ています。勤務時だけでなく私用時の車やバイクの運転も、特に注意するよう心掛けましょう。